

夏のまち



安養保育園七夕会

学校耐震化本年度で完了

P2~3

特集 町議会のいちねん P4~5

11人の一般質問 P6~11

往復書簡 P16

平成24年度6月定例会

太田小、石海小の耐震補強改修工事 2億6296万円で締結

6月定例会 は、1日から15

日までの会期で開き、太田小学校・石海小学校の学校耐震化に伴う工事請負契約の締結について、また太子東中学校の普通教室不足に伴う特別教室・多目的ホール増築工事請負契約を全員賛成で可決。

その他、同意1件、条例の一部改正など議案5件、請願1件を可決・承認しました。
【一般質問】(6ページから)は、首藤町長の任期満了について、交通安全対策や防災対策、学校園の熱中症対策など、11人の議員が質問しました。

伴い特別教室・多目的 で契約！



太子東中学校の生徒数増加に ホールの増築1億4339万円

議案に対する主な質疑

ドアの改修が見込まれる。

太田小・石海小学校耐震補強改修工事

問 太田・石海両校の体育館の耐震化は

問 トイレの改修は

答 太田小は、新基準以降の建築であり、石海小は、平成22年の第2次耐震診断で改修の必要がないと判断されている。

答 太田小北館1階と3階のトイレを内部改修する。石海小本館については、すでに改修済みである。

太子東中学校増築工事

問 太陽光発電の設置は

問 1階のウッドデッキ部分は、要望があったのか

答 龍田小・斑鳩小には設置したが、今回は校舎の環境改善、耐震性を優先し、将来的には考えなければいけないが、費用対効果の面からも見合わせることにした。

答 穏やかな雰囲気を出し、多目的ホールを効果的に活用したいと学校側から要望があった。

問 追加工事については

問 多目的ホールの使い方は

答 現在のところ太田小については追加して施工するものは予定していない。石海小については、昨年完了している東館の特別支援クラスにクーラーを設置するほか、防火

答 間仕切りができるようにし、複数学級での学習、生徒と個別面談する場、交流や展示スペース等を実施、また雨天時にはここで様々な活動を行う予定である。

固定資産評価審査委員の選任に同意

西村 博好 氏(阿曾)

固定資産評価審査委員の圓田静志氏の任期満了に伴い後任として、西村博好氏を選任することに同意しました。
西村氏の任期は平成24年9月30日から平成27年9月29日まで3年間です。
平成24年5月臨時会議決結果

可決	太子町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	賛成多数
承認	専決処分したものにつき承認を求めることについて(太子町税条例の一部を改正する条例の制定について)	全員賛成
同意	監査委員の選任につき同意を求めることについて	全員賛成

平成24年6月定例会議決結果

可決	工事請負契約の締結について(太田小学校北館校舎耐震補強外改修工事)	全員賛成
可決	工事請負契約の締結について(石海小学校本館校舎耐震補強改修工事)	全員賛成
可決	工事請負契約の締結について(太子東中学校校舎増築工事)	全員賛成
可決	住民基本台帳法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	全員賛成
可決	太子町税条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成
可決	太子町固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成
可決	太子町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成
可決	兵庫県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	全員賛成
同意	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	賛成多数
可決	公的年金2.5%の引下げに反対する意見書の提出について	全員賛成
採択	公的年金の改悪に反対する意見書提出を求める請願	全員賛成



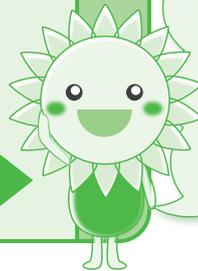
議会 私たちの

町議会のいちねん

「町議会って何?」「何をしようと?」「どういう声をよく耳にします。議会も、議会や議員の仕事をもっと皆さんに知って欲しいと思います。それで…」

町議会の仕事は、本会議が開催されているときだけと思われがちですが、実は1年を通して様々な活動を行っております。大きく分けると条例で定められた年4回の定例会のほか、専門分野ごとに分かれ、調査研究をする各種常任委員会があります。

定例町議会や委員会は誰でも傍聴できるよ! 一度、自分の目でチェックしてみよー



8	7	6	5	月
議会の開催				
臨時会 (5月10日)				
委員会の活動・その他の主な行事				
●常任委員会の委員の選任				
●各常任委員会調査開始 議会の閉会中も各常任委員会で所管について調査研究を行います。				
●新庁舎建設調査特別委員会視察 大阪府忠岡町へ庁舎並びに周辺施設の視察を行いました。 29日 太子町町長選挙 議会だより「和のまち」発行				
24年度 本会議場				

「常任委員会」
本会議から付託された条例や当初予算などの議案や請願、また陳情などを審査します。太子町議会では、4常任委員会を設置し、閉会中も毎月1回定例で各委員会の所管事項を調査しています。

「常任委員会」
一般的に議会は「議決機関」、町長は「執行機関」と呼ばれ、それぞれが独自の権限をもち、お互いが対等の立場で協力しながら『和のまち太子』の実現をめざし、町民生活の向上に努めています。

町議会議員は町議会を構成し、町長、議員それぞれの立場から提案された条例や予算等について話し合い、町の意思を決定します。町長は、その決定された内容に沿って町政を進める立場にあります。

町民が参加して話し合いをすることが理想ですが、一堂に会することはなかなか困難なため、町民の代表者を選び、その代表者に町政運営を委ねています。これが代表民主制と言われるものです。この代表者が町議会議員と町長です。

明るく住みよいまちをつくるためには、全町民が参加して話し合いをすることが理想ですが、一堂に会することはなかなか困難なため、町民の代表者を選び、その代表者に町政運営を委ねています。これが代表民主制と言われるものです。この代表者が町議会議員と町長です。

議会の仕組み

4	3	2	1	12	11	10	9
	<p>3月定例会 (会期は、約30日間)</p>  <p>町道認定 視察</p>			<p>12月定例会 (会期は、約15日間)</p>	<p>23年度 香美町</p> 		<p>9月定例会 (会期は、約30日間)</p>
	<p>●予算特別委員会設置 翌年度の予算を審査します。 町がどのような事業を行うのか方向性がわかります。</p>		<p>●兵庫県町議会広報研究会 兵庫県下の議会広報発行町の広報委員が集まり「議会だより」の編集技術等についてコンサルタントを受けます。</p>	<p>●兵庫県町議会議員研究会 本年度の開催は太子町です。兵庫県下12町の議会議員が集まります。</p>	<p>●決算特別委員会設置 前年度の一般会計や特別会計の決算を審査します。</p>		
議会だより「和のまち」発行			<p>23年度 神戸市</p>  <p>議会だより「和のまち」発行</p>			議会だより「和のまち」発行	
<p>常任委員会・議会運営委員会・全員協議会を随時開催</p>							

本会議傍聴のご案内

次回定例会

第439回(9月)定例会は、8月下旬～9月下旬に開催される予定です。



傍聴の方法

本会議当日に議場入り口の「傍聴者名簿」に記入してください。(先着順40名まで)
また各委員会も、委員長の許可を得れば傍聴することができます。その際の手続きは議会事務局へお問い合わせください。

【議会運営委員会】
(1)議会の運営に関すること、(2)議会の会議規則、委員会条例等に関すること、(3)議長の諮問に関することなどを審議します。
議会の円滑な運営を図るための委員会です。

【全員協議会】
議員相互の意思の疎通を図り、議会及び町政等の問題について協議を行ない、地方自治の発展に期するための協議会です。



どないなつとん!? どないするん?

質問者	要 旨
吉田日出夫	◎新庁舎建設について ◎やすらぎタクシー運用について
首藤 佳隆	◎交通安全対策の充実について ◎高齢者の運転免許自主返納について ◎学校における交通安全教育について ◎スムーズに移動できる交通体系の構築について
平田 孝義	◎災害に強いまちづくりについて ◎子ども・子育て新システムについて
中叡 清志	◎東日本大震災瓦礫の受け入れ不可理由は ◎子どもたちを守る交通安全対策は
福井 輝昭	◎首藤正弘太子町長の任期満了（平成24年8月5日）を控え町長に、在職12年について伺う
藤澤元之介	◎窓口事務のあり方について ◎防災体制について
中井 政喜	◎太子町旧環境センター施設及び周辺環境のあり方について伺う ◎町公共施設の節電実施計画を伺う
中島 貞次	◎ファシリティマネジメントについて ◎電力の自由化と節電対策について ◎ライフジャケットについて ◎学校の交通安全教育について
服部 千秋	◎図書館の電算システム導入の進捗状況は ◎事業仕分けについて ◎地籍調査事業をもっと進めるべきでは ◎近い将来水道料金の値上げはあるか ◎小中学校の課題をどう把握しているか ◎本町の定住対策について ◎町長の再出馬について
井村 淳子	◎高齢者への聴覚検診体制の充実で認知症予防を ◎太子町における学校、園の熱中症対策について ◎クールアース・デーの取り組みについて ◎首藤町長は、平成12年8月に町長に就任されてから3期12年、今年任期満了を抑えられますが、 取り組まれた成果等どのように統括されているのか、お聞かせください
森田 眞一	◎梅雨時を迎え危険箇所総点検と解消に向けて早急な取り組みを！ ◎町が避難場所として指定している施設は地震災害に対して機能するか

問 新庁舎建設に関し進捗状況を伺う

答 基本・実施設計に向け準備中である



吉田 日出夫議員

吉田 ①実施

設計でのプロ
ポーザルメン
バーは。

②地域交流セ
ンターの多機
能利用として、
中央公民館の
ような運用は。

③スケジュールの進捗並び
に基本設計の入札目途は。

総務部長 ①要綱の制定

に向け、準備中である。

②住民が自由に使い、気
軽に立ち寄れるものにし
たく、多機能連携に考慮
した計画を作業部会で検
討中である。

③要綱の制定に向け準備
中である。

やすらぎタクシーにつ
いて

吉田 やすらぎタクシー
運賃助成事業に関し、申
請・利用方法等の周知は
どう図られたか。

生活福祉部長 周知は、

障害者、高齢者世帯それ
ぞれ対象者となる世帯、
また助成内容、申請方法
などを広報5月号及び、
ホームページに掲載して
いる。自動車を持つてい
ない世帯と高齢者のみの
世帯へは、4月開催の民
生委員、児童委員協議会
等、定例会で委員の方々
に該当世帯へ個別訪問を
お願いし、代行申請も含
め周知している。

尚、対象者で減免措置の
ない方には直接文書を送
付している。

吉田 5月現在での利用
件数は。

生活福祉部長 受付件数

312件（達成率62%）
障害世帯では29件（達成
率29%）
となっている。



やすらぎタクシー
利用券(障害者用)



やすらぎタクシー
運賃助成事業利用証明書(障害者用)



首藤 佳隆議員

教育次長 交通ルールを守ることや事故を未然に防ぐことの大切さに気づき、自ら身を守り、

問 通学路の安全性は

答 最善の方法で安全確保に努める

首藤 近年、自転車事故が増加し高額な賠償支払い事例もあるが、マナーの向上、自転車保険、自転車点検整備及びTSMマークの加入啓発は。

生活福祉部長 法令遵守とマナー向上、事故の減少を目指し交通安全教室等を展開する。また、自転車運転中のけが及び賠償事故に対応する保険加入啓発に努め、TSMマークの認知度を高めるため広報等で情報提供する。

首藤 子どもが自転車事故を起こしたら、責任は保護者に問われる。学校での子どもたち及び保護者向け交通安全教育は。

安全を確保する、そういう能力を育成するため交通安全教室を開催していく。また、どんな危険があるのか、どうすれば安全なのかを確認し、日常の交通行動に役立つよう保護者への啓発に努める。

首藤 子どもたちが通う通学路の安全性は。

経済建設部長 通学路の再点検、また保護誘導等について重点を置き、歩道整備・ガードレール・カーブミラー・カラー舗装・注意喚起用看板の設置等、それぞれの場所に合った最善の方法を検討し安全確保に努める。



TSマーク



平田 孝義議員

高齢者、障害者等の避難対策はどうかしているのか。

問 災害に強いまちづくりについて

答 現状把握を行い、計画的に進める。

平田 住民が安心・安全に暮らせる災害に強いまちづくりは、災害を未然に防ぐことである。

町内において危険箇所は十分に調査され、把握されているのか。また、防災環境の整備、洪水、土砂崩れ、排水設備等に対する具体的対策は。

経済建設部長 太子町内の急傾斜地等による土砂災害については、兵庫県龍野土木事務所により作成された土砂災害危険箇所図をもとに現状把握を行っており、行政がかかり施工する県事業として地元要望により、計画的に進めている。

生活福祉部長 災害時要援護者として同意された方の台帳を整備中で、保健福祉会館に救護所を設置し、町に救護班を編成していく。

平田 災害を未然に防ぐ事は、住民の願いであり、町民の生命、財産を保護するため災害を念頭にしながら被害を未然に防ぎ、安心して暮らせる町にして頂きたい。



原池の様子



問 子どもたちの危機、交通安全対策は

答 関係機関と連携をとり、対応を考える



中敷 清志議員

中敷 児童の列に車が突っ込む事故が起こる可能性を考え、何か新しい施策は。また、交通安全教室をスボ

ットでなく定期的に実施しては。

生活福祉部長 ドライバーへは警察等と年4回キャンペーンを行い、立ち

番等で命の大切さを訴えている。

教育次長 幼稚園は自動車教習所で交通安全教室を実施。小学校は警察による講話や自転車実習等を実施。回数を増やせるか学校長に相談したい。

中敷 ハード面で施策は。

経済建設部長 一方的に突っ込んでくる車を未然に防ぐことは難しいが、子どもたちを事故から守る対応を道路規制も含め



石海校区通学路

考えたい。

中敷 ホームページに事故の情報やヒヤリ体験を投稿するコーナー、データから作る事故多発マップの作成及び掲載できるページを作れないか。また、広報担当と連携し「広報たいし」で危険箇所の地図を掲載しPRをするべきでは。

教育次長 ホームページの関係ですが、即答できないので、検討する。

総務部長 スペース等の関係もあるが、広報掲載には何ら問題はない。

問 町長の3期12年の取り組みは

答 行財政改革に重点を置いて取り組んだ



福井 輝昭議員

福井 太子町長の任期満了を控え、3期12年の取り組み、思いを伺う。

町長 公約等

は、おおむね成し得たのではないかと。その中でも一番うれしかったのは、兵庫のじぎく国体で、地域の皆さんがボランティアにより成功を収めたことだ。

また、第3次行財政改革大綱等々で省けるものは省き、12億円の削減効果を得た。第4次では、約20億円の削減効果を見込んでいる。

ハード面では、老原浄水場の高度水処理施設を更新。現在、立岡山北配水池の整備にかかっている。

また、子どもたちの安心安全のため、沖代線の歩道を整備中である。学校教育施設の耐震補強も今年度中に完了できる。

幼稚園の統合、その新たな施設の利用についてもルールに乗せられた。3期12年、この重責を果たせられたのも皆さんの温かいご支援、ご指導、ご協力のおかげと厚くお礼申し上げます。

次期町長選挙には、私自身はじめをつけて、不出馬ということでご理解いただきたい。新庁舎建設が残っているのではないかとと言われるが、底地が出来たことで太子町として大きな前進である。太子町は、まだまだ発展して行かなければならない。それを後任に託して、私は退任させていただく。

兵庫のじぎく国体





藤澤 元之介議員

防
災
体
制
に
つ
い
て

藤澤 想定している災害はどのようなものがあるか。

問 窓口業務のあり方、業務運用面の改善は

答 ワンストップ行政サービスを検討する

藤澤 ①「ワンストップサービス」といった窓口対応についての考え方は。②受付時に総合案内による窓口の設置等による改善策は。

総務部長 ①住民の皆さんが求めるニーズに利便性を配慮したサービスを提供できるよう今後、環境整備も含め検討する。②総合案内の必要性はあるものの、過去に職員を1人置くだけでは対応し切れなかった反省を活かし、今後検討する。

藤澤 最終的には子どもから高齢者まで、全ての人に快適な環境を提供できる、より人に優しい庁舎の運営を目指すべきだ。



庁舎正面窓口

また、住民に対して、どう周知をしているのか。

総務部長 地震、土砂災害、液状化被害、水害による浸水被害が想定され、その他の災害として竜巻、落雷、突風などの可能性もある。大津茂川と林田川の洪水や土砂災害は、太子町洪水ハザードマップを全戸配布、転入者への配布やホームページの掲載など周知をしている。

藤澤 「臨機応変に対応できる防災体制の構築」に向け、お互いの役割分担を明確にし、安全・安心なまちづくりの運営となるよう求める。



中井 政喜議員

町長 以前、排煙で周辺の土壌汚染を調査し、問題なしの結果は得ている。しかし焼却炉は公害物質が含ま

問 旧環境センター施設の解体撤去は

答 「交付金制度」を視野に検討する

中井 旧環境センター施設休止後15年が経過した。建屋と煙突が老朽化している。解体撤去しては。

経済建設部長 当設備は焼却施設と管理棟施設で軽量建築物で鉄骨造り、老朽化は進行しているが、主要構造部は健全で早急な倒壊は考えられない。また、煙突はヒビが見受けられ、一度外部補修している。早期解体が必要と認識している。

今は、総合公園事業の進捗事業に合わせて、中長期的に交付金制度を視野に検討していく。

中井 当施設の解体撤去費の試算は。



旧環境センター

れている可能性について否定できない。

施設の解体・投棄処分費用は、約1億〜2億の間である。県内にも役目を終えたゴミ焼却施設の放置が沢山ある。過去に国へ、県の町村会から要望してきた。これからも公的な補助金制度を模索し、解体事業を進めていきたい。

中井 解体工事には高額の費用が必要と言われるが、是非、早期解体を強く要望しておく。

問 消防団にライフジャケットを

答 消防団と協議し検討する



中島 貞次議員

中島 集中豪 雨で、河川やため池等が増水して危険な状況が近年各地で起こっている。水害に巻き込まれた人に対して、消防団員が救助する時、ライフジャケットの着用は不可欠と思うが、本町での実態と今後の対策は。

生活福祉部長 今まで震災、火災対策で消火ホース等の初期消火用資機材の整備を優先したので、消防団にライフジャケットは配備していない。しかし、東日本大震災の津波で多くの消防団員が犠牲になった。全国の消防団安全対策の必要性から、昨年より国は消防団員の安全確保の面で、ライフジャケット等団員自身の生命の安全に配慮する資機材の補助に取り組んでいる。今後、風水害等において

る消防団活動のあり方や安全管理等、ライフジャケットの必要性について、消防団また常備消防と協議しながら検討する。

中島 太子町は、東に大津茂川、西に林田川、原新池や福井大池等のため池や用水路等がある。万が一に備えて配備する必要性は。

町長 町の消防団で本当に必要なかどうか消防団と連携を図り、ライフジャケットの耐用年数も考慮して今後考えていきたい。



ライフジャケット

問 近い将来水道料金の値上げはあるか

答 来年策定の「地域水道ビジョン」の中で示す



服部 千秋議員

服部 水道事業経営の現状は厳しいので、受給状況から値上げはあるか。回避の方策はあるか。

パフォーマンスのような事業は実施していない。予算の要求額を事前に定め、要求書を各課に提出させ、査定を行っている。
服部 パフォーマンスではない。有識者を含む形で一度やってみては。

経済建設部長 平成20年に約26年ぶりに料金を改定したが、大口事業者の使用水量が激減。料金収入が大きく減少。現在は非常に厳しい。策定中の「地域水道ビジョン」の中で、将来の料金改定または値上げ回避の方策を示したい。

定住促進策を行っては

服部 定住促進施策の現状は。

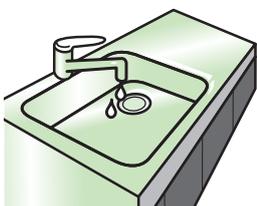
総務部長 限界集落対策、定住促進策は行っていない。自治会毎の数字はない。

事業仕分けを行っては

服部 本町では事業仕分けをどう行っているか。経常的な費用を一定割合カットしてきたが、これに代わるものを中長期的に行っているか。

服部 定住促進ビジョンを策定し空き家バンク制度、中学校以下医療費完全無料化など町を活性化する定住促進策は重要だ。

総務部長 公開の場で外部の視点も入れ判定する





井村 淳子議員

② 小中学校の授業環境を整えることは大切である。全124教室に扇風機各4機つけるとし

問 暑さの我慢も、限界ではないのか

答 学習環境改善へ、検討課題である

井村 地球温暖化で毎年猛暑が続いている。学校の暑さ対策について伺う。
 ① 夏場の教室の温度、湿度は記録しているか。
 ② 小中学校の全教室に扇風機がクーラー設置できないか。設置するならば、財源見込みはいくらか。
 ③ 中学生の登下校時等に帽子の着用を勧めるべきではないか。
 ④ 5月の小中学校制服の衣替え移行期間は、中旬以降と遅かった。気温に合わせ常識的に決めるべきではないか。

教育次長 ① 昨年温度が35度、湿度が60%を超える日があったという報告は受けたが、記録はとっていない。今後とりたい。
井村 夏場の気温が上昇し続けている。安心・安全な学校生活ができるような対応を求めたい。
井村 夏場の気温が上昇し続けている。安心・安全な学校生活ができるような対応を求めたい。
井村 夏場の気温が上昇し続けている。安心・安全な学校生活ができるような対応を求めたい。



相生市双葉小学校

高齢者の聴覚検診体制の充実で認知症予防を

井村 難聴が認知症を引き起こす原因の一つである。簡易チェッカーを用いた聴力検査の実施を。生活福祉部長 効果を含め調査検討したい。

生活福祉部長 効果を含め調査検討したい。

※簡易チェッカーとはいつでもどこでも簡易的に「聞こえ具合の確認ができる機器のこと」

問 浸水等、危険箇所の点検と解消は

答 事業化の緊急性を判断して取り組む

森田 町が平成19年に各自治会から聞き取り調査をして作成した「太子町防災マップ」は、浸水やがけ崩れ等、危険箇所の現状を住民が訴え、一日も早い解消を願う地域の思いを表したものだ。このマップには、宅地化が進む市街化区域のご真ん中で、少し強い雨が降ると広い範囲で道路が20〜30センチも冠水してしまう地域、道路側溝や暗渠の排水が悪いために水が溢れる箇所、あるいは下の堰の影響で水が逆流し浸水する区域等規模や原因は様々だが、その状況が詳しく図示されている。町は、この防災マップを作成し、配布しただけで終わるのではなく、マップが指摘する箇所を点検、監視活動を継続して行うと共に、未整備雨水幹線の確実な整備をはじめ雨水排水

対策に全力で取り組むべきでは。
経済建設部長 浸水状況等を的確に把握し事業化の緊急性を判断、財政面も考慮しながら順次改修に取り組んでいく。雨水幹線の整備は現在排水区域面積の約50%が完了している。しかし、市街化区域の中には、工事が困難なところが多い為、未整備地区として特に多く残っている。既設の排水路の整備のほかに、他の整備手法も含め雨水計画の見直しを行い、後々計画を明らかにしたい。



防災マップは、自治会からの情報を基に作成しています。

5月臨時会にて決定した 議会組織を紹介します。

議長
佐野 芳彦



副議長
清原 良典



議会選出監査委員
橋本 恭子



議会運営委員会

議長	中島 貞次
副議長	井村 淳子
委員	井川 芳昭
	服部 千秋
	中井 政喜
	森田 眞一

民生委員推薦会委員	井村 淳子
国民健康保険運営協議会委員	平田 孝義 福井 輝昭
社会福祉協議会評議員	森田 眞一
民主化推進協議会理事	首藤 佳隆
揖龍保健衛生施設事務組合議会議員	中井 政喜 井川 芳昭 藤澤 元之介
揖龍地区農業共済事務組合議会議員	服部 千秋 吉田 日出夫 堀 卓史
都市計画審議会委員	中藪 清志

慎重に審査しています！

総務常任委員会

改選後、5月17日（木）と6月7日（木）に委員会を開催。調査課題を昨年に引き続き「住民の参画と協働・情報公開のあり方について」と決めて調査中である。

陳情の審査

2回の委員会で陳情「放射性物質の拡散防止を求める国への意見書提出」及び陳情「東日本大震災による放射性物質付着廃棄物・焼却灰の受け入れ」を審査。国や近隣市町の様子をもう少し見ながら進める必要があり、継続して審査することとした。

議案の審査

6月の委員会では、本会議で当委員会に付託された議案2件を審査。太子町税条例の一部を改正する条例の制定について

内容は、上位法の公布、施行に伴い、本町の条例

を改正するもの。

公的年金等に係る雑所得以外の他の所得を有しなかった者で寡婦（寡夫）控除を受けようとする者の件数を問う質疑があり、24年度は、603名が申告されているとの答弁があった。本案に関して東日本大震災の該当者が町内にいるかとの質疑には、ないとの答弁があった。

太子町固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例の制定について

上位法に基づいて本町の固定資産税不均一課税を2年間延長するもの。本条例は、近畿圏整備法に規定される「都市開発区域」に指定されている町内に、企業が「工業生産設備」（建物及び償却資産）を新設または増設し、当該設備に係る固定資産の取得価格の合計額が10億円を超え、かつ雇用者数が50人を超える場合に、新たに固定資産税を課す年度以降3カ年に限り、不均一税率とするもの。

この条例に向けてよい情報は何かあるかとの質疑があったが、今のところよいニュースは全くと言ってよいほどないと答弁があった。

2議案とも可決すべきものとして本会議に報告した。（本会議でも可決。）



総務常任委員会

議長	服部 千秋
副議長	吉田 日出夫
委員	佐野 芳彦
	橋本 恭子
	平田 孝義
	福井 輝昭
	首藤 佳隆

給食費のあり方について提言した。

福祉文教常任委員会

5月10日臨時会

平成23年10月から平成24年4月まで「学校給食費のあり方」について近隣団体を比較調査し、提言をした。また課題を地域包括支援センターのあり方について調査・研究することに決定した。

提言（抜粋）

給食費未納は児童手当から徴収を

未納、滞納が発生した場合、正当な理由がなく払わない場合には、不納欠損を行なわないよう児童手当からの徴収を検討すること。

多子世帯には給食費の減免制度導入を

太子町の出生率は県下で3番目に高い。子育てしやすいまちづくりをアピールするとともに、子育て支援の観点から、園児、児童がいる多子世帯には、3人目以降の学校給食の一部減免制度導入を検討すること。

5月16日所管事務調査

課題の地域包括支援センターのあり方について

現状の説明を担当課より受けた。今後は地域包括支援センターの相談業務の一部を委託している「聖園」と「まほろばの里」を訪問し関係者から日常の業務等について話を伺い調査を行うことを決定した。

6月定例会

委員会付託案件

住民基本台帳法の一部を改正する法律並びに出入国管理及び難民認定法及び日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特別法の一部を改正する等の法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

太子町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制度について

いずれも委員会審査を行い、全員賛成で可決した。

「公的年金の改善に反対する意見書提出を求めめる請願」は全員賛成で採択すべきものと決定し、意見書（案）を本会議に提出した。

「30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の採択要請について」の請願は審議したが継続審査と決した。

6月8日所管事務調査

「聖園」と「まほろばの里」を訪問し、調査する質問事項について協議し決定した。

・現行法（原子爆弾被害者に対する援護に関する法律）の改正を求める陳情は継続審査することになった。

・課題に幼稚園バスのあり方についてを追加し、調査・研究することに決定した。



福祉文教常任委員会

- 福祉文教常任委員会
- 委員長 井村 淳子
 - 副委員長 森田 真一
 - 委員 中井 政喜
 - 中島 貞次
 - 福井 輝昭
 - 藤澤 元之介

新たな課題を追加し、調査開始

経済建設常任委員会

5月15日所管事務調査

課題として昨年度に続き、「水道事業の健全化について」太子町水道ビジョンの完成を前にして、「前処理場のあり方について」施設の老朽化が進む中今後の方向性を、調査・研究し、新たな課題として「農地の有効活用」

休耕田の有効活用の取り組み方法を調査・研究することとした。

6月18日所管事務調査

県水の利用状況と今後の考え方

・県水は、1m³当たり24年度においての受水単価は、約145円だが、太子町の水道料金の単価はこの質疑では、平成22年度決算値で、給水原価は約109円。
・水道水の需要と供給はとの質疑では、自己水源については需要に応じて必要なだけの水を上げることができる。県水は、

の検討を委託している。

休耕田の有効活用の取り組み方

太子町地域農業再生協議会（J.A、近畿農政局、県農政振興課、農業改良普及センター等の各専門で構成）が中心となり、転作、米作り、耕作放棄地の関係等全て担っている。

若くて、やる気のある人のため、新規就農対策また、認定農業者の制度がある。活動資金援助、税の優遇制度等がある。



経済建設常任委員会

- 経済建設常任委員会
- 委員長 井川 芳昭
 - 副委員長 平田 孝義
 - 委員 清原 良典
 - 吉田 日出夫
 - 堀 卓史
 - 中数 清志

新庁舎建設調査特別委員会設置される

平成24年3月定例会で特別委員会の設置が決まった。設置理由として、「新庁舎建設に関する調査研究や周辺整備等に関する諸問題を調査すると共に、必要な提言を行うため、特別委員会を設置する。」であり、議長を除く15名の議員で委員会を構成することになった。

【組織体制】

委員長を除く14名を二つの分科会に分け調査していく。

分科会1班

基本コンセプト検討分科会（議会関連施設を除く新庁舎全般、周辺整備等）

分科会2班

議会関連施設検討分科会（議場、委員会室、議会中継等）

【町への提言】

平成24年度は、新庁舎建設基本計画に沿って基本設計、実施設計が策定

され具体的に新庁舎像が出来上がる。その設計段階で議会として調査した結果を反映させるため7月下旬には町へ提言や要望を行う。

【調査活動】

各分科会が積極的に調査研究し特別委員会開会時には報告検討していく。また、疑問点等あればただしていく。

【調査内容・経過】

分科会1班

- ・新庁舎建設資金
- ・新庁舎の防災センターとしての機能
- ・建物屋根の形状
- ・自然エネルギー（太陽光やバイオマス等）の利用

分科会2班

- ・地域交流センター
- ・地元建設関係の業者の関わり方
- ・先進地（7市町）の議場を調査

新庁舎建設調査特別委員会	
【委員長】 中島貞次	【副委員長】 首藤佳隆
分科会1班基本コンセプト検討分科会	
【代表】 服部千秋	【副代表】 井川芳昭
【委員】 清原良典	吉田日出夫 平田孝義 福井輝昭 森田眞一
分科会2班議会関連施設検討分科会	
【代表】 首藤佳隆	【副代表】 中数清志
【委員】 橋本恭子	中井政喜 井村淳子 藤澤元之介 堀 卓史

- ・議場の形状（円形）と多目的使用のあり方
- ・議場内でパソコン等が使用できる環境整備
- ・大型モニターやスクリーンの設置
- ・議会ライブ中継や採決結果の表示
- ・議員控室、正副議長室、議会事務局や図書室のあり方等

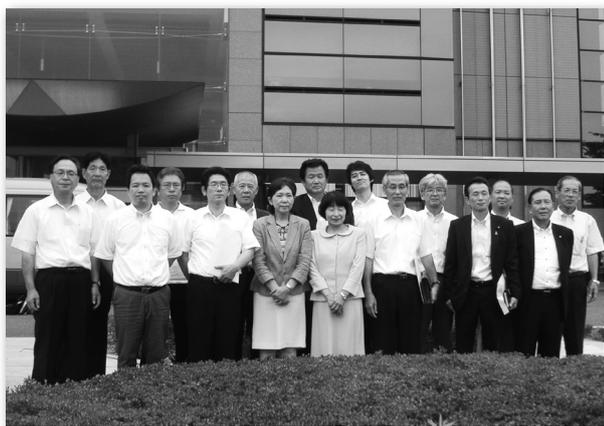
大阪府 忠岡町役場を訪問

7月4日（水）大阪府忠岡町役場を視察調査で訪れた。「日本一小さなまち」忠岡町は面積約4平方キロメートル、人口約1万8千人、泉大津、和泉、岸和田の3市に囲まれた小さな町である。

忠岡町庁舎は平成10年に建てられた大阪府内で最も新しい建物で、本館7階建（役場、保健センター）南館3階建（児童館、ふれあいホール、スポーツセンター）の複合施設である。

当特別委員会の視察調査に対して、和田吉衛町長、杉原健士議長より歓迎の挨拶があり、担当職員より説明があった。次に質疑応答に移った。その中で、南館本館との相互利用を可能にしたエレベーター、階段、待合室、会議室、ト

イレ等諸室の共有、電気設備熱源設備の共有による効率化を図る。地盤が硬いので建物の地震による崩壊はない。複合施設のため中央管理室で各施設の空調等の制御を行う。バスの乗り入れはなく、駐車スペースは地上64台、地下28台（公用車）を確保している。外観へのこだわりから全面ガラス張りのため自然風が取り入れられず節電対策が十分との感想があった。



議会関係では、ライブ中継の実施、バリアフリー化、議場や委員会室等ゆったりとした空間づくりをしていた。

今回の訪問調査結果をふまえ、今後の特別委員会の意見要望に生かしていきたい。

兵庫県自治功労者表彰を受けられました

5月17日、兵庫県の町議会議長会主催の定期総会が開催されました。

その中の自治功労賞表彰において、佐野芳彦議長が、多年にわたり町政発展に貢献したとして表彰されました。



請願・陳情
あなたの意見を
町政へ!

請願審査 全員賛成で可決

6月定例会で委員会に付託された請願は、採択した。
その結果、本会議で委員会提案(福祉文教)された意見書(案)を全員賛成
で可決し、内閣総理大臣・厚生労働大臣へ意見書を送付した。

6月定例会で国へ意見書送付を決定

件名	請願者	紹介議員
公的年金の改悪に反対する 意見書提出を求める請願	全日本年金者組合西播支部	平田 孝義

【提案内容】

年金支給額に関係なく一律2.5%削減され、低年金所得者という高齢者を取り巻く状況に更なる厳しさを増す制度に対して見直しを求める意見書を提出する必要があると判断した。

【国への意見書】

公的年金の2.5%削減は行なわないこと。

『請願・陳情について』

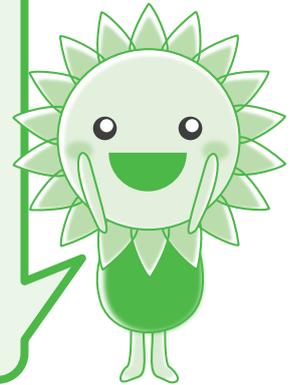
町政についての意見や要望があるときは、誰でも請願書や陳情書を町議会に提出することができます。

- ▽請願書を提出するときは町議会議員の紹介が必要です。
※請願の場合は、本会議で議題にした上で、必要に応じて所管する常任委員会等で審査し、本会議で結論(採択・不採択)を出します。
- ▽陳情書の場合は、町議会議員の紹介は必要ありません。
※陳情の場合は、所管する常任委員会等で審査・調査を行います。

【提出方法】

請願(陳情)の趣旨、請願(陳情)の項目、提出者の住所と氏名(法人のときは、その名称及び代表者の氏名、記名押印、2人以上の場合は、その代表者を定めて記名押印、請願は紹介議員(1人以上)の署名押印または記名押印)を書いて、町議会に提出して下さい。

請願・陳情については、太子町HPの太子町議会、請願・陳情より抜粋。



表紙写真募集

当議会だより表紙に掲載することを目的に、「季節感のある太子町」をテーマにした写真作品を募集します。

※注意 応募者は作品の著作権を保有し、被写体の持つ諸権利(特に肖像権)に関して全責任を持つものとする。

次号の締切日は、

24年9月30日です。

応募方法はメー

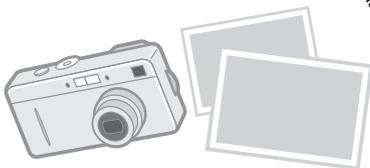
ルもしくは郵送、

持ち込みにて受け

付けますが、応募

者の氏名連絡先は

必ず添付して下さい。



詳しい応募要領は議会事務局まで
TEL: 079-277-5995

今回の表紙写真は 安養保育園の七夕会の様子です。

平成24年7月6日

当日は、雨が降ってしまい室内での開催となりちょっと残念でしたが、みんな大きな声で元気いっぱいに歌ったり、演奏したりしていました。

ろうかは、たんざくのついた笹かざりやちょうちんなどで飾られ、とても良い雰囲気でした。

お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃんなどたくさんの人が笑顔で見守っていました。





喜寿と金婚式迎え

往復書簡

自分自身の支えとなっている
大切な人へ…

松本 春雄さん・景子さん(糸井北)

おふたりとも、いつもニコニコ笑顔が素敵です。いつまでもお幸せに。



景子さんへ ～金婚式を迎えて感謝とお礼を～

あっと言う間の50年でしたね（景子さんは長く感じたかもしれません）。交際を始めてからの57年間には県職員として西脇保健所勤務に始まり姫路市中央保健所、そして新聞販売店、不動産業、町会議員と、その目標に向かって自分では一生懸命進んできたつもりですが、景子さんには心配や苦勞を掛けたと思います。何一つ反対せず共についてきてくれました。そのために暇がなく「大阪万博やディズニーランドに行っていないのは日本でも私たち夫婦だけだろう」と笑って話しをしていますね。今も一緒に旅行する時間がなくその代り私が自動車を出かける時、何時も景子さんが助手席に乗っていて、私は行先を言わず「ミステリーツアーだ」と言って出かけていますが今はそれで辛抱してくださいね。

景子さんには、靖彦に早くお嫁さんに来てもらって孫の笑顔を見るまで、好きな扇舞やカラオケの練習に頑張ってください。

私も好きなゴルフでエイジシュートの達成と仕事では生涯現役を目指して、農作業をしながら体力づくりにまだまだ頑張っていきます。

春雄より

お父さんへ ～「妻はにっこりハイの一言」～

金婚式を迎えてのお手紙をありがとう

「松本さ～ん」「吉永く～ん」に始まって結婚と同時に「ハルオ～ケイコ」と呼び合い早や57年。

子供ができパパとママになり何時の間にか50年経ちました。私もあっと言う間の50年でしたよ。

振り返ると山あり谷ありいろんな仕事を熟しましたね。誠実で一生懸命な貴方をいつも尊敬して誇りに思っています。夜は1時、2時まで書類の整理をし最後はパソコンで日誌を書いてから眠りますね。

自動車に乗れない私の買物や春雄の仕事のための外出に「ミステリーツアーや」と連れて行ってくれるのが大変楽しみですよ。

最近のゴルフで優勝が続きましたが、その時は惜しくも1ヶ月違いでエイジシュートをのがし残念でしたね。

趣味のゴルフが続けられるようにと体力づくりの田畑仕事に励んでいるのに…私は付いて行くだけで何も手伝えずごめんさい。真っ黒になって頑張る春雄が大好きです。喧嘩もするけど貴方の「妻はにっこりハイの一言」で私がんばります。

景子より

Boys&Girls Taishi をいだけ!!

消防出初式のアナウンスで多くの人を魅了した美声の持ち主♪

Q: どうして放送部に?

A: フリーアナウンサーのお母さんの影響で、声のお仕事に興味を持ち放送部なら声に関われると思い入部しました。

Q: 放送部でよかったことは?

A: 意外! ?と思われませんが、うちの放送部って負けず嫌いなんです。そんな仲間と競い合っ上を目指せたことです。

Q: 今後の目標は?

A: 就職して社会勉強をしながら、もっと声の勉強をしたいんです。



太子高校3年 田淵 麻里奈さん
(放送部部長)

最近の受賞

H24年度
NHK杯高校放送コンテスト兵庫県大会
決勝進出(アナウンス部門)

編集後記

この号の発行から当委員会は、2人減の5人体制となりましたが、昨年からの引き続き「見やすく、わかりやすく・読みやすい」というコンセプトで、『和のまち』にふさわしい議会報を心がけていきたいと思っております！
(首藤記)

◆編集

委員長 首藤 佳隆

副委員長 中敷 清志

委員 清原 良典

委員 藤澤 元之介

委員 堀 卓史

あなたの「声」をお聴かせください

議会だよりを読んでのご感想など
お聴かせください。

お問い合わせは 太子町議会事務局 まで